

平成 29 年度事業概要(年度計画)

❖ 教育・研究組織

- 教育学研究科教職実践専攻（教職大学院）の設置による実践型カリキュラムの展開
- 「地域共創」をリードする人材の育成を目指した研究科再編基本計画の策定
- 地域イノベーションへの貢献を目指した附置研究所再編計画の策定

❖ 教育改革

- 3つのポリシー（AP・CP・DP）に基づく教育改革の推進
- 教育内容の質的転換（アクティブラーニング、学修成果の客観的評価の推進 など）
- キャリア教育の充実・強化（キャリア教育の体系化、インターンシッププログラム開発）
- 全学的な入学者選抜改革（全学委員会による改革案の策定）
- 学生の経済面、メンタル面や障害学生への支援体制の強化（学生サポーターの養成など）

❖ 研究推進

- 地域の特性を活かした研究活動の推進（食、健康、再生可能エネルギー、環境、被ばく医療など）
- 若手研究者等への支援強化（学内研究助成事業の実施など）
- 北東北3大学3銀行の技術移転ネットワーク「ネットビックスプラス」による産学官金連携の推進
- 知的財産の活用促進

❖ 地域連携・地域貢献

- 地域連携・地域貢献活動の基盤強化（地域連携室の新設）
- COC・COC+事業の推進
- 地域の自治体や経済界等との包括連携協定の拡大・深化
- 附属図書館・出版会・資料館における学術的成果の地域への積極的な情報発信

❖ グローバル化

- 教職員・学生の国際交流の推進（新規海外協定校の開拓、海外拠点の積極活用）
- 日本人学生への海外派遣支援の拡充（経済支援策の検討など）
- 海外からの留学生の受入れ促進（海外大学フェアへの参加、短期受入プログラムの実施など）

❖ 附属病院

- 医療安全・感染対策の体制強化
- リハビリテーション体制の強化（ロボットスーツ HAL の活用など）
- 被ばく医療における中核的役割（原子力災害拠点病院に対する研修の実施など）

❖ 附属学校

- 学部、教職大学院との連携による附属学校園運営体制の整備
- インクルーシブ教育の推進
- 教員と学生による協働的な省察活動を組み入れた教育実習指導体制の整備

❖ 業務運営等の改善

- 学長のリーダーシップの強化（IRを活用した大学運営など）
- 学長の裁量による戦略的な経費の優先的確保（トップマネジメント経費など）
- 「弘前大学基金」の充実等による財務基盤の整備
- 弘前大学ハザードマップの策定・公表

❖ その他

- 広報活動の強化による大学ブランド力の向上（民間手法によるイベントの実施など）
- 男女共同参画の推進（女性教員・管理職比率向上のためのポジティブアクション実施など）
- 学生、教職員への情報セキュリティ教育の強化（e-ラーニング教材の活用など）

❖ 戦略性が高く、意欲的な目標・計画

《放射線科学と被ばく医療教育・研究の国際拠点構築》

- 国の被ばく医療機関として、被ばく医療体制の充実と関連機関とのネットワーク構築
- 放射線科学、被ばく医療に関する国際連携、国際共同研究の促進
- 原子力災害医療に対応する人材の育成
- 福島県浪江町復興における支援の推進

《少子高齢化等に対応した社会医学的観点からの総合的教育研究拠点の形成》

- COI 事業におけるコホート研究の連携強化
- 子どものこころの問題に関する医療的支援、教育研究活動の推進
- スポーツ医科学、地域健康増進活動を基盤にした指導的人材の育成

《地域の特性を活かした持続可能な“青森型地方創生サイクル”確立の先導》

- 地域貢献を機動的に推進する「地域連携室」の設置
- 自治体等との連携強化（自治体等職員の受入制度の創設）
- 附置研究所を中心に、地域特性を活かした研究活動の展開